





「目標を持って」

教士七段 津村 久美

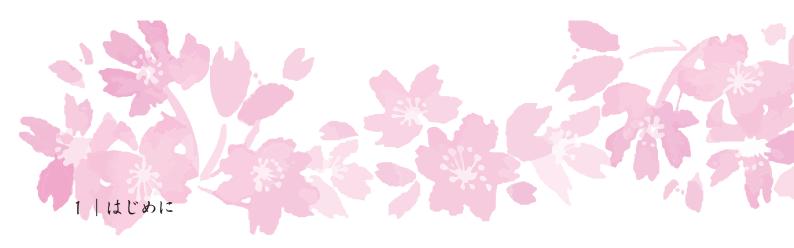
4月になりました。

3年ぶりに開催された北九州大会も終わりました。

3月5日の京都での六・七段審査で昇段された皆様おめでとうございます。

3月19日の県の昇段審査も終わりました。

試合も審査も皆さん結果はどうでしたか?



我が道場では、去年から北九州大会に向けて稽古に励んできました。私は、結果も大事ですが、試合上の開始線に立った時の緊張感を少しでも取り除けたらと思いながら指導しました。

みんなの気持ちがだんだんとやる気に変わり、稽古回 数が増えるようになりました。

やはり目標があれば頑張れます。

3月12日の地域稽古会で川路先生が「三磨の位」の お話をしてくださいました。

習って繰り返し繰り返し稽古して自分なりに考えて 稽古していくことが上達に繋がるとのことです。

また次の目標に向けて頑張りましょう!

昇段者の声



六段昇段に際して

明徳館道場 六段 小金丸 一哉

去る3月5日(日)京都市武道センターに於いて居合道六段審査を 受審し、合格させて頂きました。これも偏に熱心にご指導頂きました 明徳館道場顧問の小川内先生をはじめ、馬場先生他多くの先生方のご

指導の賜物と心から感謝申し上げます。本当にありがとう御座いました。ただ、令和3年5月に他界された恩師の波 止成徳先生に合格の報告を自分の言葉で直接申し上げることができないことが唯々残念でなりません。

恩師は昨年11月に六段に昇段された同門の磯野先生が本誌198号の「昇段者の声」で書かれているとおりで、 且つ私は他流を2年学んだ後の入門ということもあったのか「手取り足取り」といった指導は無くひたすら見て学び ました。そのつもりでした。平成21年3月に五段に昇段するまでは。それからの5年間、転職や両膝の手術を経験 し自然と稽古も遠ざかる様になっていました。稽古不足は否めませんでしたが恩師のお許しがありましたので、平成 26年7月に岡山市で六段審査を初めて受審しました。それから9年・・・19回目の受審での合格でした。過去 18回の受審では数多くの失敗を経験しつつも全日本剣道連盟の「剣窓」にはもう一歩の受審者として私の受審番号 が何度か掲載されていましたので、今は昇段を諦めなくて良かったと感じています。

18回目の失敗以降、改めて恩師の演武のビデオを何回となく見直し脳裏に焼き付けて審査の日を迎えました。当 日の指定技は一本目「前」四本目「柄当て」六本目「諸手突き」八本目「顔面当て」十本目「四方切り」十一本目「総 切り」と前回と同じで、審査場に入場すると過去とは全く違って特に緊張もせず落ち着いて六本の演武ができ、失敗 も無く集中できたかなと感じながら退場、直後の発表で私の受審番号を見つけて時には「あっ! ある まさか!?」 という驚きの後、嬉しさと安堵感が湧き出るように押し寄せてきました。

最後に、恩師亡き後、明徳館道場を引き継ぎ稽古の場を快くご提供くださいました松本容子館長、門下御一同様、 そして私の居合道人生に理解を示してくれた妻にも心から感謝致しております。これからは六段の名に恥じぬ様、尚 一層の努力精進を重ねて参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

追記

審査当日、神様の存在を身近に感じる出来事がありましたので記したいと思います。それは、ホテルに迎車して頂 いたS交通のタクシーの車内で、私が袴を着けていて行き先が京都市武道センターということからか、J運転手が「何 かの試合か審査ですか?」と問われました。私は居合道の段位審査会があり六段を受審する旨を伝えると「弊社の 社有車は200台ありその内13台を"大吉"に指定しています。お客様がご乗車の車両はその"大吉"の車両です。 今日はきっと良いことがありますよ。」と言われました。見ると運転席の後ろに " 大吉 " と表示がありました。更に下 車時に「ここに八坂神社でお祓いを受けた"大願成就"の御神符がありますのでどうぞお持ちください。」と小袋を渡 されました。中には御神符と五円硬貨が入っており、これは吉兆の兆しなりと感じましたので、その小袋を紋付の懐 に忍ばせ審査に臨みました。結果は合格、ホテルへの帰りもS交通のタクシーで、車内でJ運転手への合格の伝言を お願いしました。部屋に戻って今日の合格はきっと神様のご加護を頂いたからに違いないと確信し、神様への感謝の 気持ちで胸がいっぱいとなり、生涯忘れることのないであろう一日となりました。 以上、乱文長文失礼致します。



六段昇段に際して

武揚館道場 水落 宗嗣

本年三月五日、京都で行われました居合道六段審査会で昇段させて いただきました。これも偏に、熱心にご指導いただいた先生方のお陰 だと深く感謝しております。

私が居合道と出会ったのは、小学校6年生の時でした。佐賀の剣聖会道場(故加茂治作先生)に入門し、剣道と居合 道を教わりました。その後、大学では剣道部に所属し、故鶴丸寿一先生のご指導のもと専ら剣道の稽古に励みました。 以来、社会人になるまでの十数年間は、居合道から遠ざかっていましたが、再びご縁あって武揚館道場(故末次正尚 先生)のもとで居合道の稽古を始めることになりました。

私が今回の審査に臨むにあたって心掛けたことは、まず、日々の暮らしを見直すことでした。ふだんの立ち振る舞 い(姿勢・態度)が即居合の演武に反映されると思ったからです。居合では"技"の追究が大事ですが、同時に"礼法" が重視されます。まだまだ人間として未熟であり何も実践できませんが、『歩々是道場』の教えを、居合道の修行に 活かしていけたらと思います。

次に、稽古で指導されたことを、その日のうちにノートに書き留めるようにしたことです。注意されたことはすぐ に忘れてしまいます。地元の道場に戻ってノートを読み返し、一人稽古で技の練習を繰り返すことで次第に言われた ことが理解できた気がします。

最期に、居合の稽古ができるのは家族の協力があるからであって、感謝の気持ちを忘れないことです。審査の前日 には、私の演武を見て批評してくれました。「入場時はもっと胸を張って堂々と。」「所作は慌てずに落ち着いて。」な どなど。居合道に関しては全くの素人ですが、鋭い指摘もあり、道場の外の頼もしい"師範"なのです。

審査の当日は、「敵を想定した物語を作ること。」「息を長く吐き続けることによって澱みのない切りを心掛けるこ と。」など、先生方の助言を賜り、自信を持って演武することができました。また、これまで物心両面で支えていた だいた皆様方の後押しを受け、心に余裕を持って審査に臨むことができたと思います。今後も日々の稽古に励み、後 から後から出てくる多くの課題の克服に努め、技を磨いていきたいと思います。

第47回北九州居合道大会

第47回北九州居合道大会ご協力のお礼

北九州居合道同好会会長 小田 信秋

3年間の空白を強いられた本大会でしたが、県内外を問わず沢山の剣友の皆様の支えにて無事盛会裏に閉幕することが出来ました。大会前日の会場準備、設営からご協力頂きました居合道部会員の皆様、有難うございました。遠くは大牟田、八女、みやま等の筑後地区から、また福岡地区からも泊まり込みの応援を頂き、本当に感謝、感謝しか有りません。

申込み表で確認していた設営応援者は 50名強でしたが、当日に都合が悪くなり極端に不足することも予測されたので遠方組もお願いベースでお断りをしませんでした。

ところが 17時過ぎての応援者を含めると80名以上の剣友が参集してくれて一切の準備が 19時半には終了してしまい、私自身が驚いてしまいましたが、余った時間を急遽、大会当日の進行説明の時間に当てさせて頂くことが出来ました。

お陰をもちまして大会当日も「国歌静聴」など若干のトラブルは有りましたものの事故もなく、予定よりも前倒しで進行することが出来ました。県外の先生方からも「いい大会でした」は勿論ですが、「進行に入られている方々が親切でした」「皆さん、テキパキされていて審判の私たちも背筋が伸びました」などの嬉しいお言葉を頂いています。また「最先端の大会運営」「これからの大会の見本」など、特に大型ビジョンを使ったやり方に驚かれていました。

本来であればご協力いただいた全ての方々、一人一人にお会いして御礼を言うべきところですが、先ずはこの紙面をお借りして御礼申し上げます。

北九州居合道同好会としては、この先「北九州居合道大会」を継続していくための無駄を省き、趣を変えながら九州唯一の大会の灯を消さぬよう一生懸命に取り組んで参ります。今回の反省点、気づき、改善点、何でも構いません。忌憚ない意見をお願いして、御礼の挨拶に代えさせていただきます。 (小田 拝)

以上

北九州大会感想

北九州居合道同好会 松岡 由記

北九州居合道大会は私が兵庫で居合道を始めてから初めて出場した大会で、個人的にも思い出深い大会です。3年前、縁あって兵庫からここ北九州に越して来て以来新型コロナの影響で長らく開催中止だった本大会に、今回は選手としてだけでなく小田会長を中心とする北九州居合道同好会の大会実行委員メンバーとして関わる機会をいただきました。

大会は終わってみれば本当にあっという間の 1日でしたが、そこに行き着くまでに一体どれだけの時間をかけて準備や議論や試行錯誤が行われたか、どれだけの人にご心配頂きご助言頂いたか、どれだけの人が集まって協力して走ってくれたか、どれだけの人がこの大会を望んでいてくれて協力してくれたのか。当然ながら同好会メンバーだけで成し遂げることは到底不可能で、本当にたくさんの方々のご尽力・ご厚意・ご協力のおかげで成り立っている大会であることを実感した貴重な体験となりました。

特に、今回の大会は3年ぶりの開催で、感染症対策で受付や試合会場内での密状態をいかに解消するかについていろいろな議論を行ない、最終的に"受付は行わない"、"試合会場での招集方法を変えて会場に入れる人数を制限する"といった前例のない試みをすることになりました。このような新しい試みにも快くご対応下さり、スムーズな試合進行をして下さった福岡県下の居合道部の諸先生方・門下生の皆様には本当に感謝しきれません。

また、今回の大会は大型スクリーンをフルに活用しながらの大会進行であったり、Green Bellさんによるチャリティ演奏を昼休憩に開催したり、webによる参加受付を試みたりと本当にいろいろな"初めて"にチャレンジした大会でした。

この他にも、雨降る中会場の外で参加者の皆さんを誘導して下さった方々、少人数でお弁当交換をご担当下さった方々、試合の状況を映像に収めて下さった方々、大会を通して放送による進行をして下さった方、質状を方式でいた方、教護班として事務局で待機下さった方等等、縁の下の力持ちのように大会運営を支えて下さったすべての方に感謝いたします。私としては、準備の時も当日ももっと全体を見渡して動ければよかった人としては、準備の時も当日ももっと全体を見渡して動ければよかった人としては、準備の時も当日ももっと全体を見渡して動ければよかったは、準備の時も当日からもっと貢献できることがあったのではないが奔走する中自分ももっと貢献できることがあったのではより素晴らしいものにできるよう、居合の稽古とともに精進したいと思います。

第47回北九州居合道大会

































福岡県居合道段位審査会































4月・5月の予定

4月9日 第53回(公社)福岡県剣道連盟「武道祭」 福剣連 武道館

5月2-5日 第119回全日本剣道演武大会(見学不可) 全剣連 京都

3日 居合道八段審査会(見学不可) 全剣連 京都

21日 居合道部理事会・総会 居合道部 クリエイト篠栗

編集後記

清明な水面に花びらが浮かび煌めく美しさを醸し出すこの季節。

3年ぶりの北九州大会も終わり、段位審査会も終わり、2日続けて、悲喜交々な2日 間でした。

大会は勝っても負けても楽しいのですが、さて今回の大会の演出はいかがでしたで しょうか?

なかなかテンポに機械と自分が追いつかず、蹴躓いた時は真っ青になりながら、試合 や審査では経験しない、生ぬるい汗を背中に感じてしまいました。しばらく君が代はタ ブーでお願いします。(苦笑) まことに汗顔の至でございます。

今回は、運営担当者が代替わりして、毎日の様に夜中まで机上で「できる」と突き詰 めて、万全の備えのつもりで臨みましたが、各所に細かい綻びがでてしまいました。が、 決してこれは「後ろ向きな失敗」ではありません。この「経験」が次に繋がり、より興 味深い企画が生まれるのではないかと思います。これでやっと1度目の経験ができ、も うすでに次に向かって個々が「次はこうやってやる」と腹の中でメラメラ燃えているは ずです。

(次回自分の機材持っていこうかしらと密かに企んでいるのであったwww)

- *ひとまず、大型ビジョンで見せるという経験ができた事。
- *印象的だったのは「受付をしない」という決定を聞いた時でした。天地がひっくり 返る思いがしました。誰がそんな突飛な発想をしたんだ~~。その決定の裏には侃 侃諤諤の議論があり、忌憚なく意見を戦わせ、最後に「決定した事」をどうやった ら達成できるかを作り上げたのはお見事でした。
- * GREEN BELL さんありがとうございました。とても華やかな時間でした
- *スタッフの皆様もお疲れ様でした。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟·福岡県剣道連盟 居合道部

第201号 令和5年4月発行 発 行:福岡県剣道連盟居合道部

URL : http://riai.info/

発行人: 井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847

編 集:有限会社 FEW